

豊丘村長 下平喜隆 殿

平成30年度 豊丘村行政評価委員会 意見書

豊丘村の平成29年度決算に基づく社会関連事業の行政運営や施策の実施状況等に関して、豊丘村行政評価委員会において審議した結果、別紙のとおり施策の方向性の評価を行い、併せて施策に対する意見等が出されましたので、予算編成や企画立案等、行政執行に可能な限り反映してください。

なお、当委員会から出された意見に対し、委員会の場で村より返答があった内容に関しても、必要なものについては記載してあります。

平成 31 年 1 月 11 日

豊丘村行政評価委員会

| | | |
|------|-----|-----|
| 委員長 | 宇佐美 | 博敬 |
| 副委員長 | 唐澤 | 敏 |
| 委員 | 毛涯 | 雅明 |
| 委員 | 松尾 | 徹 |
| 委員 | 丸山 | 昭臣 |
| 委員 | 片桐 | 林三 |
| 委員 | 大原 | 千賀子 |

平成30年度 豊丘村行政評価委員会 意見書

【成果の方向】 A…向上、B…維持、C…減少

【コストの方向】 A…増加、B…維持、C…減少

| 担当課 | 担当係 | 施策名 | 意見等 | 委員会の際の村からの回答 | 委員会評価 | | 実施日 |
|-----|-------|----------------|---|---|-----------|-----|--------|
| | | | | | 今後の施策の方向性 | | |
| | | | | | 成果 | コスト | |
| 総務課 | 企画財政係 | 土地利用計画 | 土地利用は人口増や定住対策と密接に関係してくると思うが、農地・宅地のバランスを取って計画を立てなければいけない。「豊丘村に家は建てたい」との声は聞くものの、土地が無いのが現状。 | 村として10年に一度土地利用計画を策定しているが、時代の流れが早く、計画も細かくしないといけないと感じる。分譲地の整備はこれからも進めていかなければならない。 | B | B | 12月13日 |
| | | | 下段地域は農振のところがほとんどだが、優良農地が宅地に代わってしまうのも悲しい。 | 土地利用計画は、あくまで自治体としての計画であり、土地それぞれの使い方は地権者の判断となるため、縛りができないのが厳しい所ではある。 | | | |
| | | | 農振地域でも、地主が作付しているところはほとんどない。耕作放棄地であれば、宅地にした方が利用価値はある。ただ、それに伴って道路の整備が必須となる。 | 計画では、下段を宅地、中段を農地、上段を農地と自然地域と大まかに分けている。リニアや三遠南信道等の整備により人の流れも変わるため、より細かな土地利用の線引きをしなければいけない。 | | | |
| | | | 地域や地主でも対応できない遊休荒廃地は、村で何とかならないか。 | 対策は必要だが、村として買い受けることができる土地ばかりではない。基本的には地主の責任でやってもらうほかないが、分譲地に適したところであれば、宅地造成を考慮する余地はあると思う。 | | | |
| | | | 時代の変化に対応するため、早期にもっと細かな計画を立てていかなければいけないと思う。また、リニア関連で民間の土地買収の手も早まるので対策を。 | 時代に合った計画が立てられるよう調整していく。民間企業の土地買収についても村として注意しておかなければならない。 | | | |
| 総務課 | 企画財政係 | 人口増定住対策 | 最近、村営の戸建賃貸住宅については、審査が甘くなってはいないか。この所、地区の行事や作業にほとんど出てこない人しか入ってこない所もある。コミュニティの分断が心配である。(八王子) | 審査を甘くしているということはないが、そのような人たちがたまたま同じ団地に集まってしまったというのが印象。自治体加入や協力体制は入居条件にもしているため、しっかりと受け止めたい。 | B | B | 12月13日 |
| | | | 作業性の悪い農地は耕作放棄されることが多いため、宅地造成したらその部分に道路整備を村で行うべき。 | 地主との調整もあるが、村だけではそういった土地を把握しきれない状況。地区で宅地造成候補地として挙げていただき、地権者との調整も協力いただければありがたい。 | | | |
| | | | これからは、賃貸住宅ではなく分譲に力を要したらどうか。 | これまで河野方面を中心に分譲を進めてき。今度は、南(小園)に分譲する予定。これは、北と南の児童数や消防団員数でも明らかな差が出ていることも理由の一つ。 | | | |
| | | | 国全体で人口は減ることが明らかなので、他の自治体とは違うことをしなければならぬ。 | 宅地取得・新築住宅建築・若い世代等様々な補助金の施策によって、豊丘村に家を建てたいという若い家族が増えている。住宅メーカー等も豊丘を勧めている感じもあり、ある程度成果が出始めてきていると思う。 | | | |
| 総務課 | 企画財政係 | 地域づくりコミュニティの推進 | とよおかまつりは年々規模が大きくなり、他自治体に誇る祭りにはなっているが安全対策をしっかりとしないといけない。 | とよおかまつりは、今や村民だけではなく村外、県外からも多くの人が訪れる大きなイベントに成長した。これに伴う安全対策が課題となっており、対策を取ってきているが、すでに素人で出来る域を超えているため、安全対策のプロに委託するなどの検討も必要と思う。 | B | B | 12月13日 |
| | | | 人口が増えるのは嬉しいことだが、地域のルールを守らなくなってきた人も多い。ある程度、地域もルールの緩和も必要とは思いますが、あまり協力的でない人は、歓迎はできない。 | 他地域からの移住の場合は、地域のルールに適應するのに時間はかかる。確かに、敷居を上げた呼び込み方も必要とは思。ルールも緩和する方向で地区も動いてきてはいるが、そうするとコミュニティが崩れることも懸念される。ただ、ルールを厳しいままにしておく、若い世代の移住が無くなってしま。難しい問題ではある。 | | | |
| | | | 隣組に加入していない世帯はどのくらいあって、入っていないことによるデメリットはあるのか。 | 150世帯超が未加入世帯。現時点では、加入していないことによるデメリットよりも加入している方のメリットの方がかなり少ない状況。 | | | |
| | | | 集合住宅など、ある程度自治体で投資し、運営を民間に任せるなどの対策を取るのがいいと思うがどうか。 | 民間との連携も視野に分譲地や集合住宅の建設も進めていきたい。 | | | |

| 担当課 | 担当係 | 施策名 | 意見等 | 委員会の際の村からの回答 | 委員会評価 | | 実施日 |
|-----|-----|-----------|--|---|-----------|-----|--------|
| | | | | | 今後の施策の方向性 | | |
| | | | | | 成果 | コスト | |
| 総務課 | 総務係 | 交通安全対策 | 安協加入率が29年度は前年度より下がっているがどうか。 | 隣組で集金しており、隣組加入率が下がったのも原因ではないか。しかし、県内ではトップクラスの加入率。 | B | B | 11月19日 |
| | | | 加入率を上げるにはPRが必要なので、様々なPRを。 | PRLしていく。 | | | |
| | | | 高齢者の免許証返納について対策を取っているか。 | 自主的に返納してもらうしかないので、福祉タクシーの利用を促しながら返納についての検討をしていくようにPRLしていく。 | | | |
| | | | 70歳以上に高齢者マークを配布しているが、知らない人が多い。 | PRLしていく。 | | | |
| 総務課 | 総務係 | 消防組織対策 | 団員が非常に少なくなっており、5年先には団として成立しないほど厳しいと聞かすが、状況はどうか。 | 団員数自体は、定員割れしているものの活動できないレベルではない。しかし、実際の活動に出勤してこないいわゆる幽霊団員が多数おり、実働人数となるとかなり厳しい状況。先の事となると、団員対象年齢の人数自体が減っており、さらに仕事や趣味、生活の多様化によって入団してくれないケースが多い。また、家族が反対し、勧誘に行っても本人に会わせてくれないケースもあると聞いている。 | A | A | 11月19日 |
| | | | 女性団員が増えていると聞かすが、今以上に予防消防活動を強化するなど、女性団員でも十分に団員として活動できる状況にしていってらどうか。 | 女性団員はおかげさまで増えている。現在は広報活動や救護活動を主な役割として担っている。団員数が減ることを見越し、行事等を減らすなどの策を徐々にとっている状況。 | | | |
| | | | 団員へ対する活動補助はどうなっているのか。出不足金徴収や補助金を増やすなど視野に入れてみては。 | 消防団らん券(商品券)の配布をしているが、必ずしもそれがあから団員になってくれるとは限らない。出不足金も、それがあることによって責任を果たしているとの考えになり、更に入団数を減らすことになる懸念がある。ただ、団らん券等の現団員への補助の増加は検討していく。 | | | |
| | | | 今以上に自主防災組織の強化が必要になってくる。 | 現在、自主防災組織は村内に6団体ある。消防も含めた組織として活動できるよう、各地域に働きかけを行っていく。 | | | |
| | | | 定年延長等は考えていないのか。あまりにも活動が厳しくなるようであれば、その点も考えなくてはいけないのでは。 | 現時点では考えていない。 | | | |
| 総務課 | 総務係 | 防災対策 | 備蓄品に関しては、それがあること自体の広報も大切だが、各家庭でも備えておくように周知した方がよい。 | 区に配布している備蓄品は、区民全員が3食、食べられるだけの量しかない。各家庭でも備蓄するように周知していく。 | B | B | 11月19日 |
| 総務課 | 総務係 | 防犯対策 | 防犯灯のLED化は進めた方がよいので、目標値を60%から70%に変更したらどうか。最終的には、100%を目標にしてもらいた。 | そのようにする。 | A | A | 11月19日 |
| 総務課 | 総務係 | 公共交通機関の整備 | 村営バスは昼間はガラガラなことが多い。昼間はマイクロバスでなくてもいいのではないか。 | 毎年、昼間の運行については懸念材料だが、今後も検討委員会を通じて検討していく。 | B | B | 11月19日 |
| | | | 65歳以上は村営バスは無料となったようだが、利用者は増えたのか。 | 新規利用者は増えてきている。 | | | |
| | | | パルムの巡回バスは、1日2回から1回に減った。道の駅に場所が移ったのに、不便になっては意味が無い気がする。 | 運行に対する補助金は以前の2倍になっているはず。調査して検討する。 | | | |
| | | | 道の駅にバスで行ってバスで戻ってくるには無理がある。 | 道の駅の場合、バスで行って福祉タクシーで帰ってくるような、村営バスと福祉タクシーの利用を併用して利用してもらうのが理想。 | | | |

| 担当課 | 担当係 | 施策名 | 意見等 | 委員会の際の村からの回答 | 委員会評価 | | 実施日 |
|-----------|----------------|----------|---|--|-----------|-----|--------|
| | | | | | 今後の施策の方向性 | | |
| | | | | | 成果 | コスト | |
| 総務課・税務会計課 | 総務課係・広報係・企画財務係 | 事務事業の効率化 | 未収金はなんとかかなりそうか。 | 毎年、微増が続いている。 お支払いしていただくよう、根気よく進めていく。 | B | B | 11月19日 |
| | | | 水道料については、未払いでも止めたりしないのか。 | 水に関しては、命に係わるため、今まで止めてこなかったが、今ではコンビニやスーパーで安く飲料水も手に入る時代。悪質な未納の場合は、閉栓の検討も必要と思う。 | | | |
| 総務課 | 企画財政係 | 広域行政の推進 | ゴミ袋の見直しをしてほしい。すぐに破れるし、前より量が入らなくなったのでは。利用者の目線に沿って作ってほしい。 | 袋自体は処分場でかき混ぜる際、破れやすいように作ってある。 容量は、紙袋より多く入る仕様だが、紙袋の方が詰め込めたため、そのように感じるのでは。 北部のワーキング等で検討していく。 | B | B | 12月13日 |
| | | | 広域で出来る事業は広域で行い、費用を抑えて行ってほしい。 | 今後は、下水も広域的に行えるよう研究するように国からも通知が来ている。広域で行う方が効果が上がる事業については広域で行うよう研究していきたい。 | | | |
| | | | 結婚相談所がどのようなことをやっているのか情報が少ない気がする。 | 村独自のイベント等も行ってきていたが、人の集まりが悪く断念した経過もあるという。今後は、更にPRし、様々な部署と連携を取っていきたい。 | | | |
| 総務課 | リニア対策室 | 交通高速網の整備 | 特になし | なし | A | A | 11月19日 |